

朝霞第一中学校 第1学年 数学の学習の進め方

～ 数学の授業を通してこんな生徒になってほしい ～

- ・わからないことをわかろうと、努力を続ける生徒
- ・物事をすばやく処理したり、筋道を立てて考えることのできる生徒
- ・思いやりの気持ちを忘れずに、まわりの人と協力できる生徒

1. 授業への取り組み方

① 小テスト

- ・授業の初めの5分程度で計算問題に取り組みます。毎回きちんと取り組んで、数学の基礎基本をしっかりと身につけましょう。

② 単元テスト

- ・単元のまとめとして、単元テストを実施します。

③ ノートの取り方

- ・問題練習の答え合わせは、すばやく、確実に行いましょう。分からないままにしておいたり、間違いを直さないでいると、力になりません。
- ・図は大きくていねいにかきましょう。図をきちんとかくことは、数学の力を高めることにつながります。
- ・教科書の参考例(マイノート)も見てください。

④ 話の聞き方

- ・先生の話で大事な点は、メモをとるなど工夫すると、数学の力がつきます。特に数学の式表現や独特の言い回しなど、教科書にはない説明でも大事な内容があります。話をしっかり聞くことを、日頃から心がけましょう。
- ・友達の意見を聞くときは、自分の考えと比較して聞かましよう。自分の考えが、より深くなります。

2. 提出物について

① ワーク

- ・スタンプカードと一緒に随時持ってきてください。学期末にスタンプカードを提出します。
- ・ワークは学習したことを、どれだけきちんと身につけようとしているのか、その人の努力する姿勢が見えるものです。たくさん間違えているからダメだということはありません。 粘り強く取り組んでください。

【ワークの取り組み方】

- ・途中式を書くようにしましょう。
- ・筆算や、計算メモなども残しましょう。きれいに消す必要はありません。
- ・間違った問題には、必ず赤ペンで直しをしましょう。
- ・わからなかった問題でも、解答を見て考え方を記入しましょう。
- ・計算スペースが足りない場合には、別紙をはさんでも構いません。
(提出するときは、別紙をはさんで提出。)

3. 家庭学習について

数学は復習に力を入れて取り組んでほしい教科です。特に授業で取り組んだ問題を家でもう一度解いてみて、もしも解けなかったら、自分が分かったつもりになっていた問題です。力を入れて復習してみてください。次の授業への準備につながります。

4. 評価について

3つの観点の評価します。

① 知識・技能

数量や図形の基礎的な概念等を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

② 思考力・判断力・表現力

事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に判断・表現をすることができる。

③ 主体的に学習に取り組む態度

忘れ物、問題集の提出・内容、授業中の挙手発言、意欲的な授業への取り組み、レポート等、総合的に判断します。私語などの授業を妨害することは大きく減点されます。

①、②については、定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での取り組みを中心に、評価項目にあった内容部分の得点をもとに評価しています。

[評定について]

各評価の観点ごとの評価をもとに総合的に判断し、5段階の評定で評価します。

[学年評定について]

1学期から3学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価（A・B・C）と評定（5段階）を行います。

「埼玉県中学校教育課程指導・評価資料」に基づいて評価します。
詳細は埼玉県教育委員会のホームページでも確認できます。

[1年間の学習内容]

[

1 年間の学習内容]

0章 算数から数学へ

- ・ 整数の性質

1章 正負の数

- ・ 正負の数 ・ 加法と減法 ・ 乗法と除法 ・ 正負の数の利用

2章 文字と式

- ・ 文字を使った式 ・ 文字式の計算 ・ 文字式の利用

3章 方程式

- ・ 方程式とその解き方 ・ 1次方程式の利用

4章 比例と反比例

- ・ 関数 と 比例・反比例 ・ 比例の性質と調べ方 ・ 反比例の性質と調べ方 ・ 比例と反比例の利用

5章 平面図形

- ・ 図形の移動 ・ 基本の作図 ・ おうぎ形

6章 空間図形

- ・ いろいろな立体
- ・ 立体の見方と調べ方 ・ 立体の 体積と 表面積

7章 データの分析と活用

- ・ データの整理と分析 ・ データの活用 ・ ことがらの起こりやすさ

三角定規・コンパスが必要になります。